資料４

**肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について**

**１．肝炎ウイルス検査の重点勧奨**

◯大阪府がん対策推進計画では、肝炎ウイルス検査を受診促進するため、「肝炎ウイルス感染の高リスク集団を特定し、積極的な検査の受診勧奨を実施し、累積受診者数の増加を図る」こととしている。

◯令和元年度大阪府がん対策推進委員会肝炎肝がん対策部会にて、「60歳代から70歳代を重点勧奨の対象集団とする」ことに決定。

◯全年齢を対象としたこれまでの取り組みに加え、重点勧奨対象集団を中心に普及啓発を行う。

**２．健康サポート薬局での肝炎医療コーディネーターによる普及啓発**

≪健康サポート薬局とは≫　府内216機関（令和２年11月時点）

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、医療機関での受診提案や、他の関係機関を紹介するなど、健康の保持増進を積極的に支援する機能を備えた薬局

◯健康サポート薬局は普段から府民・患者に身近な存在であるとともに、60歳代から70歳代をターゲットに「対面での受診勧奨」等を行うことが可能。

◯健康サポート薬局の肝炎医療コーディネーター認定者は295人。（129機関）



　**➡（案）肝炎医療コーディネーターとして60～70歳代を対象に啓発物品を用いて受診勧奨を実施**

　《健康サポート薬局での受診勧奨のイメージ》　※大阪府薬剤師会と調整中

　　　・60～70歳代の府民・患者に対し、コーディネーターから薬局窓口で

啓発物品を手渡し、ウイルス検査の受診勧奨を対面で行う。

**３．啓発物品について**

◯啓発用ポケットティッシュを新たに作成

◯肝炎医療コーディネーターを配置している「健康サポート薬局」へ各500個配送予定（R3.3月）

　　　《ポケットティッシュデザイン》

　　